



2021年11月12日

各 位

東京都墨田区太平四丁目1番3号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長 CEO 一瀬 邦夫
(コード番号:3053 東証第一部)
問い合わせ先 常務取締役 総務本部長 猿山 博人
電 話 番 号 0 3 (3 8 2 9) 3 2 1 0

中期経営計画の進捗に関するお知らせ

当社は、2021年8月13日公表いたしました「中期経営計画の進捗及び見直しに関するお知らせ」において、添付資料のとおり進捗をお知らせいたします。

※ 本資料に記載されている記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

株式会社ペッパーフードサービス 2021年12月期3Q説明

2021年11月12日

市場：東証一部

証券コード：3053

URL：<https://www.pepper-fs.co.jp/>

中期経営計画の進捗 21/3Qまでの計画差異／全社

- 3Qは新型コロナの影響を受け、売上高が計画を下回ったものの、感染症拡大防止協力金の入金により、経常利益は黒字で着地した。

21/3Qまでの全社計画差異

単位：百万円

勘定科目	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q	3Q	通期
	実績	実績	実績	見通し	見通し	予実差異	修正計画
売上高	4,957	4,428	4,362	4,593	5,196	▲231	19,174
売上原価	2,652	2,300	2,328	2,434	2,817	▲106	10,204
売上総利益	2,305	2,128	2,034	2,159	2,379	▲125	8,971
売上総利益率	46.5%	48.0%	46.6%	47.0%	45.8%	▲0.4%	46.8%
販管費及び一般管理費	2,790	2,470	2,459	2,427	2,606	32	10,293
営業利益	▲485	▲343	▲425	▲268	▲227	▲157	▲1,323
営業外収益	26	647	452	464	385	▲12	1,523
営業外費用	16	14	13	20	20	▲7	70
経常利益	▲475	291	14	176	138	▲162	130
特別利益	92	▲26	▲5	-	-	▲5	66
特別損失	0	21	0	-	-	0	21
税引前当期純利益	▲383	243	9	176	138	▲167	174
法人税等	24	20	22	61	8	▲39	113
当期純利益	▲408	224	▲13	115	130	▲128	61
EBITDA	▲328	▲174	▲280	▲121	▲81	▲159	▲705

※営業時間短縮期間が計画時の想定よりも長期化していることから、4Qの営業外収益については見通し数値を上回る可能性がある。

中期経営計画の進捗 21/3Qまでの計画差異／セグメント別





- 3Qは緊急事態宣言の影響を受け、いきなり！ステーキ事業の売上高が計画比2億円のマイナスで着地した。

21/3Qまでのセグメント別計画差異

単位：百万円

勘定科目	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q	3Q	通期
	実績	実績	実績	見通し	見通し	予実差異	修正計画
いきなり！ステーキ事業							
売上高	4,573	4,092	4,049	4,244	4,747	▲195	17,657
営業利益	23	54	19	185	279	▲166	541
レストラン事業							
売上高	261	214	227	287	354	▲60	1,115
営業利益	▲32	▲44	▲40	▲7	22	▲33	▲60
本社・その他							
売上高	123	122	86	62	95	24	402
営業利益	▲477	▲353	▲404	▲445	▲529	42	▲1,803
合計							
売上高	4,957	4,428	4,362	4,593	5,196	▲231	19,174
営業利益	▲485	▲343	▲425	▲268	▲227	▲157	▲1,323

取り組み施策の進捗状況_いきなり！ステーキ

	施策	取組状況	参照頁
1. 不採算店舗の撤退	 <p>不採算店舗を撤退し、いきなり！ステーキ事業全体の収益力を高めます。</p>	<p>114店舗のなかで107店舗について撤退完了またはスケジュール確定済。 18店舗の撤退は今期中に完了見込。</p>	P.4
2. 商品戦略の原点回帰	 <p>主力メニューへの絞り込みを実施し、店舗オペレーションを安定化させ、高品質な商品の提供に努めます。</p>	<p>グランドメニューの変更を経て、概ね取り組みを完了。</p>	-
3. 立地別特性の分析	 <p>今後、地域や立地に合わせた商品展開を検討すべく、店舗立地ごとの特性の把握・分析を進めます。</p>	<p>一部の店舗や施設店舗向けにトッピングステーキやビーフシチューハンバーグ、チーズトマトハンバーグを導入。</p>	P.5
4. アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた形態	 <p>事前決済にも対応でき、待ち時間なく食事・テイクアウトできる体制を検討します。</p>	<p>試験導入を踏まえて6月より152店舗にてモバイルオーダーを本格導入。</p>	P.7

取り組み施策の進捗状況_いきなり！ステーキ

1.不採算店舗の撤退

114店舗の撤退の状況

	確定済	未確定	小計
北海道・東北	14	1	15
関東	52	3	55
中部	19	0	19
近畿	12	2	14
四国	2	0	2
中国	3	0	3
九州	5	1	6
合計	107	7	114

※3月に決定した18店舗については年内に撤退作業を完了する見込である。

取り組み施策の進捗状況_いきなり！ステーキ

3.立地別特性の分析

既存店立地別直営店売上高の進捗状況(計画対比)

	7月	8月	9月	3Q合計
ビルイン	71.9%	65.7%	63.9%	67.1%
SC	75.0%	67.3%	62.9%	68.3%
ロード サイド	72.3%	68.8%	63.5%	68.2%
いきなり！ ステーキ 合計	72.9%	66.2%	62.0%	67.0%

取り組み施策の進捗状況_いきなり！ステーキ

3.立地別特性の分析

- 新メニュー・季節メニューを一部店舗にて試験導入し、今後の展開を検討。



様々な種類を召し上がっていただけるように一部店舗にてトッピングステーキを試験導入



1月に販売し好評頂いたチーズハンバーグビーフシチュー添え~をリニューアルして季節メニューとして販売

取り組み施策の進捗状況_いきなり！ステーキ

4.アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた形態

■ 6/1より直営店舗152店舗にモバイルオーダーを本格導入。

■ モバイルオーダーへの対応

- 事前決済にも対応でき、待ち時間なく食事・テイクアウトできる体制を導入。引き続き今後一部のFC店舗でも導入を検討している。



- 現時点では利用割合が低いことから、今後更なる利用促進を行う。

■ モバイルオーダーのご利用方法



取り組み施策の進捗状況 ワラント入金の状況

- 6/2に第11回の新株予約権の行使を完了し44億円を調達。
- 現在第12回の新株予約権の行使を行っているが、直近では行使が停止している。

第11回新株予約権行使の状況

	行使された新株予約権数 (株)	調達金額 (百万円)
21/8月	515,300	202
21/9月	1,451,400	504
21/10月	1,706,400	488
21/11月	1,575,000	382
21/12月	1,810,300	484
22/1月	1,404,300	320
22/2月	2,027,200	514
22/3月	2,203,500	589
22/4月	1,484,600	390
22/5月	1,795,700	494
22/6月	124,500	41
合計	16,098,200	4,408

第12回新株予約権行使の状況

	行使された新株予約権数 (株)	調達金額 (百万円)
22/6月	243,200	76
22/7月	62,900	20
22/8月	0	-
22/9月	0	-
合計	306,100	96

第11回・第12回合計

4,503

商品販売事業

取組	取組内容	取組の状況
新商品開発 販売強化	日本初のレンジでステーキ！を販売。 年間に新商品を10アイテム導入。	8月以降10月までに冷凍いきなりサーロイン等新商品を7アイテム発売。年内に4商品を発売予定。
卸販売の強化	飲食店・量販店への売り込みを図る。	現在販売している商品（とんかつソース）の拡販とともに既存製品のリニューアル（いきなり！監修ガーリックピラフ）を実施予定。
ネットショップの強化	楽天市場、Amazon、Yahoo!、PFSオンラインショップ販売を継続、売上拡大に努める。	モールセールに合わせて「冷凍いきなりサーロイン150g」を販売した。

3Qは新型コロナウイルス感染者数が増加する中、ほぼ全期間にわたる緊急事態宣言発出の影響を受け、営業時間を短縮しながら、その中でできる限りお客様に喜んでいただけるように営業してまいりました。

また中期経営計画の達成に向けて店舗撤退作業等の各種施策にも取り組んでまいりました。

これらの取り組みも奏功し、3Q（7月～9月）の実績は新型コロナウイルスの影響を受け、売上高は計画を下回る結果となりましたが、営業時間短縮協力金の入金もあり、経常利益の黒字を達成いたしました。

緊急事態宣言解除後は大変ありがたいことに、少しずつご来店いただけるお客様も増えてきております。

この状況下でもご来店いただけるお客様に「また来たい」と思っていただけのように、今後も新型コロナウイルス感染防止対策を万全に行い、より一層お客様に安心、喜んでいただける店作りを実現できるよう努力してまいります。

株式会社ペッパーフードサービス

代表取締役社長

一瀬 邦夫